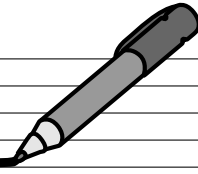


編集後記



■秋は6月に次ぐ結婚式シーズン。10月と11月で、トータル4件の結婚式に招待いただいている私。2次会のみを含めると6件になります。昔からの親しい友人や同僚の結婚式や2次会なのでもちろん外すことはできませんが、家庭を持つ身としては、「祝儀貧乏月」になりそうで厳しい感じが…。思い返すと結婚して早2年半が過ぎてしまいました。その間に1児のパパとなり、更なる責任感と自立を実感する今日この頃です。家庭を持つことは、ある意味自分が組織の長であり、長として家庭内マネジメントが必要です。よりよいマネジメントが家庭円満の秘訣なんだと思います。(S. Y)

■今年から新たに導入された実質公債費比率は、公債費の負担割合を示す、いわゆるフローの指標ですが、一方で地方債に関しては、従来から地方債残高というストックの指標が一般的に用いられています。この二つを併せて見たとき、実質公債費比率はそれほど高くなくても、例えば地方債残高が標準財政規模の2倍を超える市町村もあることが見えてきます。

これは普通会計ベースの話なので、全会計ベースで見ればさらに残高の規模は大きくなります。これから地方債の分野でも市場化がさらに進められると、今以上に厳しいレベルでの財政運営、つまり、フロー（公債費）だけではなくストック（残高）も含めた健全化に取り組んでいかなければならない時代が、いよいよ始まるのでしょうか？

フローの収支不足を地方債で補う現在の財政構造を如何に打破していくのか、景気は回復しつつあるとは言え、まだまだ厳しい状況は続きそうです。(K. Y)

■結婚して1ヶ月余りが経ちました。結婚前は「終わってしまう独身時代」への哀惜、既婚者の友人に相談すれば結婚生活のグチを聞かされ「ホントに結婚するべきか」と悩む日々…。

式当日、花嫁をひとめ見た瞬間、胸がキューン。ウェディングドレス姿で微笑む彼女に「こんなキレイな女性が僕の妻になってくれるのか」と感激し、あまりの幸せに胸がいっぱいに…昨日までの現実的な悩みなんて、一気に忘れてしまいました。

「新郎の98パーセントが、結婚式当日の花嫁に惚れ直す」という記事を読んだことがありましたが、そのとおりのことを自分が体感してしまいました。

これからも色々なことがあると思いますが、いつまでも仲良く時を一緒に過ごしていければいいなと願います。(N. O)

編集庶務は大阪府総務部市町村課
総務・企画グループで行っています。

〒540-8570

〔府庁の専用郵便番号ですので、
住所の記載が省略できます。〕

☎ 06-6941-0351 (内線2228)

06-6944-6096 (市町村課直通)

サマージャンボ宝くじ

オータムジャンボ宝くじ

～市町村のまちづくりに役立っています～

月刊「自治大阪」の発行は、サマージャンボ宝くじの収益金を活用しています。

